会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2013年2月号

第12回房総郡界尾根縦走　房総の名湯　山中温泉で

千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2013年2月1日発行　　通巻238号（毎月1回発行）

冬山は、十分な準備と
余裕の日程で楽しもう

２月号目次

・　目次　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
・　千葉県連盟会員数報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
・　花博士の花たより　　ふわくＨＳ　中原　紀代治・・・・４
・　房総ロングハイク報告　　市川山の会　吉澤　重克　・・・・５
・　山への想い　　ちば山の会　加藤　洋子　・・・・７
・　特別寄稿　郡界尾根報告　　世田谷山友会　林　祥介　・・・・８
・　第１２回郡界尾根報告　　ちば山の会　広木　国昭　・・・１０
・　全国臨時総会案内　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
・　ＲＯＵＳＡＮパートナーズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
・　雪上技術講習会案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
・　春のコンサート案内　　ちば労山ゆう・・・・・・・・・・１４
・　県連たより　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
・　２月・３月予定表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

表紙説明

第１２回房総郡界尾根縦走が、１月１２日・１３日・１４日に実施された。
県内外から、５０名を超える参加者があった。
前日に、１４日は悪天候との事で中止とし、山中温泉に戻り交流会を盛大に行った。主催者の判断と山中温泉のご主人の好意に感謝したい。
表紙は、２日目の出発前の記念写真です。

2009年度～2013年度・加盟会会員数

	団　体　名	年　度　別　会　員　数				
No.		2013年度（47期）	2012年度（46期）	2011年度（45期）	2010年度（44期）	2009年度（43期）
1	ちば山の会	97	90	82	89	95
2	君津ケルン山の会	13	10	8	6	6
3	茂原道標山の会	10	6	8	8	4
4	船橋勤労者山の会	74	75	78	63	58
5	松戸山の会	80	80	75	72	73
6	東葛山の会	51	54	51	48	49
7	千葉こまくさハイキングクラブ	148	147	148	137	146
8	山の会らんたん	25	31	31	29	33
9	成田ラテルネ山の会	11	14	13	14	14
10	千葉民医連山を歩こう会	11	13	16	17	21
11	山の会「岳樺クラブ」	8	8	7	5	9
12	かがりび山の会	33	33	35	36	34
13	岳人あびこ	32	40	47	51	55
14	ふわくハイキングサークル	103	94	89	80	77
15	市川山の会	10	16	14	16	12
16	まつど岳人倶楽部	11	10	12	12	12
17	まつど山翠会	20	22	17	15	13
18	シリウス☆山の会	15	16	16	16	18
19	まつど遠足クラブ1年さくら組	10	10	7	5	5
20	ACT峰友	5	6			
21	あじさい山の会	3	3	2		
22	深山会　　（２００９年度で解散のため退会）					3
	合　　計	770	778	756	719	737

・ 2012年11月末現在の、 各会の会員数が報告されました。

前年に比較すると、県連盟全体で8名の減少です。各会とも厳しい状況での会運営、会員拡大に取り組んでいただいています。

花博士の花便り

ふわくハイキングサークル　　中原　紀代治

真冬の花便り

郡界尾根の山で見た花はミヤマシキミ、オニシバリの蕾と**ヤマツバキ**の花が1、2輪、陽だまりでニホンスイセン、タチツボスミレ咲いていました。庭でロウバイが満開です、和田の抱湖園の**元朝ザクラ**は、2月初めに咲きます。

梅　バラ科　サクラ属

昨年の朝ドラ“うめちゃん先生”は好評でした。今年の梅花は、まだ蕾で堅いです、温暖の年なら正月から、1月に紅梅、白梅、の順に咲きます。私は、咲き分けの花（**思いのまま**）が好きです。

梅の種類は、３００種あると言われますが実生の交配種や挿し木などで増えます、似た花が多く見分けは難しい。

一搬に分類すると、野梅、豊後、紅梅、枝垂れ、実をとる果梅に分けます。

梅の実は、梅干、梅酒など健康食品です。実の大きい南高梅（なんこううめ）は果肉が大きく種が小さいので有名です。紀州の高田貞楠が発見し育成した南部（みなべ)高校から、南高梅と登録されたようです。

“東風吹かば、匂いをこせよ、梅の花、主なしとて春を忘るな”は菅原道真公が京から、大宰府天満宮に越した時の句です。各地区にある天神様は、学問の神様として、菅原道真を祀り受験生の合格祈願の御宮です。

“桜伐る馬鹿、梅伐らぬ馬鹿”は、梅の木は剪定した方が花も実も多くなります。

私の知る梅の花の名所

＊昭和の森　３００本　千葉市緑区。　＊長柄ふるさと村、エアロビクスセンターの梅園＊成田山公園　４５０本、＊水戸の偕楽園　３０００本＊越生梅林　１０００本＊青梅吉野梅郷　日向和田駅～二俣尾駅間　２５０００本（梅の公園）　２００種　１５００本などです。2月中旬から咲きます。梅の花を観に出かけませんか。

元朝ザクラ

思いのまま

ヤブツバキ

房総ロングハイク報告

楽しかった房総ロングハイキング

ハイキング委員　吉澤　重克
（市川山の会）

これ以上ないという好天に恵まれ，1 月 27 日早朝 6 時に 39 名の参加者で七里川温泉を出発しました。ヘッドランプを必要とした暗さも，石尊山中腹まで来ると東の空が赤くそまり，頂上直前には「アカイアカイ，アサヒアサヒ」が見られ歓声もあがりました。今までこのようなことはなかったことで，まったく幸運でした。ここから麻綿原まではアップダウンはあるものの平坦な尾根道でした。この日は気温も低くまた風が冷たく，以前経験した雪のロングハイキングの時より寒く，冷たい感じでした。中原実行委員長の樹木などの説明がありましたが，悲しいかな，なかなか頭に入りません。麻綿原近くになって，例の大きなモミの木，モミ次郎とモミ太郎もあり，今回初めての参加者もおり，幹に手を回す人もいました。何回参加してもこのような巨木や自然のままの樹木を見るのは楽しいものです。この日は空気も澄んでおり，途中，筑波山が遠く薄く眺望され，これも初めての経験でした。10 時頃ようやく麻綿原に着くと，日差しは明るく，斜面に座るとその温かさは別世界のように感じられ，寒さで冷えた体や手もたちまち回復しました。しばらく休み，集合写真を撮り，出発。約 20 分で今回の新コース入口の「ツクバネカシ」W0 に到着しました。過去のコンクリートのコースとは異なり，山道へ。10 分くらい行くと初の難所です。急勾配の下り道で，下見の時張ってそのままにしておいたロープが役立ちました。ペースは落ちましたが，先ずは無事全員通過しました。今回のコースは道が細く，左側または右側が急斜面になっている場所が多く，足を滑らせると大変なことになる可能性があります。しかしベテランの労山会員だけあって順調に進んで行きました。昼食の一部は麻綿原で食べた人もいましたが，予定どおり 12 時に烏帽子山直下の広場で昼食をとり，時間に余裕のある人は石尊山につぐ 2 つ目の山頂であるすぐ上の烏帽子山に登りました。もっともものの 2~3 分でしたが・・・。

ここからはアップダウンと左右への曲がりが多く新鮮味が感じられます。特に巨岩にしがみつくように生えている樹木の多いことには感動しました（写真左）。
岩上の力強い大木の生命力には心にジーンとくるものがありました。時間があったらずーっと見ていたい気持でした。

難所はいくつかあり，特に滑りやすい道の細い岩をゆく時は自分のバランス感覚を試されるようでした（写真下）。

烏帽子山出発から約 1 時間硯石に来ましたが，確かに硯のような石があり，興味を引きました。ここからは緩やかな下山になり，途中沢を渡り 13 時 50 分には予定より少し早く本沢林道に下りてきました。今回の房総ロングハイキングは，もう少し歩きたいと言う人もいましたが，全体的には素晴らしいハイキングで，すべて順調にいきました。

これも桑原委員長，中原実行委員長の努力によるものと感謝しています。
参加者全員が満足したとことを確信しています。

房総ロングハイクについて

通称「ロングハイク」として、千葉県連盟の委員会行事では超長寿の行事で、今回は、第２８回目です。
一口で２８回と言ってしまいますが、生まれた子供が２８歳になり、子供がいてもおかしくない年齢です。もっとも、参加者も２８年を数えたことになります。第１回から参加している方は、国民栄誉賞に匹敵するでしょう。
この取り組みには、千葉県連盟の各会・会員の皆様が「ふるさと千葉」の想いが詰まっています。ふるさと千葉の山に入り、巨木に会い、生活する人に会い、歴史に会える、何より豊かな自然、その素晴らしさを実感する。
この取り組みが、追原ダム建設阻止・鬼泪山を守る取り組みに引き継がれて大きな成果を挙げています。
この取り組みの中心には、房総の豊かな自然を知り尽くし大事にしている、中原さんとふわくハイキングサークルの皆さんがいます。
そして、桑原ハイキング委員長の「ロングハイク」にかける熱い思いは、参加者全員が感じるところです。
桑原・中原コンビで、とっておきの房総を紹介して下さい。

――― 編集者 ―――

山への想い「お薦めの山、温泉、キャンプ場」

ちば山の会　加藤　洋子

昨年訪れて特に印象に残ったお勧めの山々、温泉、キャンプ場を紹介します。

① 月山と志津野営場

高山植物、紅葉はもちろん、山スキーでも楽しめる。昨年１０月２０日に行ったが、姥沢の広大な駐車場には暖房付きの新設のトイレ、更衣室がある。月山リフト（翌日から運休）を利用し、姥ヶ岳経由月山山頂へ、頂上２つの小屋は施錠されていた。１０月とはいえ、強風でエビのシッポが張り付き山頂は手袋、帽子が必要。下りは牛首から沢の近くのルートを利用した。紅葉を愛で、水流を何回か横切り、水場へ。水場には表示板があるので他の水流と区別できた。下山後は、混雑のため月山志津温泉の殆どの宿で入浴は断られたが、一番山側の旅館で何とか済ませた。宿泊は志津野営場（テント１張り 500 円）、水場と炊事棟が重い扉のある建物内（照明あり）にあり、動物が侵入する心配はない。野営場目の前の国民宿舎「月山荘」は解体中で跡形もないので注意。夕食は山形名物の芋煮、食材のゴボウが道の駅で入手できず、下界のスーパーまで行った。

② 乳頭温泉郷「黒湯」の離れ（別荘）

秋田駒ヶ岳、乳頭山の山麓にある乳頭温泉郷で特にお勧めなのが、黒湯。私は参加しなかったが、会で秋田駒ヶ岳登山の際、黒湯の離れ（別荘）に宿泊したというのを聞き、６月下旬新幹線を利用し、観光がてら黒湯を訪問した。黒湯には旅館部と自炊部があるが、その他に最奥の高台に茅葺き屋根の古風な外観の建物がある。内部は近代的に改装されており、台所、ガス、調理具もあり昔ながらの風情はないが快適な一夜が過ごせそうだ。ただし、離れは６月からの営業で 31,500 円＋入湯税 150 円×人数（食事なし）シェラフを持参すれば 15 人位泊まれそう。食材は温泉街がないので下界で調達が必要。

③ 房総半島南部　　増間ダム～坊滝～大日山～御殿山～大日山～南側の車道

御殿山は２度目だが山頂の西側が刈り取られ伊予が岳、富山がよく見える。御殿山～大日山のハイキングコースはなぜか 25,000/1 地形図に記載されていないが、よく整備され、縦走コースとしてお勧めです。今回は南側の増間ダム湖の西側の林道から入山した。坊滝（水量少ない）の奥の太鼓橋を越えて、良く整備された遊歩道を進むと大日山頂への分岐に着く。大日山の頂上は素晴らしい東京湾の展望が望める。地形図にはない北に向かう尾根道を辿ると右側に御殿山の特徴ある山頂が見え隠れする。道標はあるので安心して進むと椿のトンネルの階段杖の道をひたすら登ると御殿山山頂である。帰りは往路を大日山まで戻り、山頂の階段下の分岐から左（東）側に下山し、車道に出た。増間ダム入口には駐車場、トイレも完備し、案内板も随所にあり、５時間程度で周遊できる。私が出掛けた１月上旬は、スイセンはまだ早かったが、ツバキはちらほら咲いていた。また、御殿山の北側の駐車場から来る人の方が多かったように思えた。

特別寄稿　郡界尾根縦走報告

内房から外房へ遥かな旅立ち。鋸山から浜金谷を望む。

世田谷山友会　林　祥介

【日時 2013 年 1 月 12 日（土）-14(月）【交通】鉄道　　【主催】千葉県連
【参加者】林、宮代：千葉、埼玉、神奈川の各会　合計 52 名
【行程】1/12(土)浜金谷駅 8：50⇒9：45 展望台⇒10：15 鋸山山頂⇒10：55 根道⇒
12：15 石切場(昼食)⇒14：05 水仙ピーク⇒14：25 嵯峨山 315m⇒
16：15 山中温泉(テント泊)
1/13(日) 山中温泉 7：25⇒展望台⇒9：20 木之根峠⇒横尾林道⇒尚武山⇒
13：45 柚ノ木林道⇒14：00 安房高山⇒15:10 鉄塔⇒16:40 鴨川
1/14(月)爆弾低気圧による降雪により、予定(鴨川-清澄)を中止解散

南房総郡界尾根縦走(鋸山～鴨川)は今年で 13 年目を迎え、主催の千葉県連をはじめ、県外からの参加を含め総勢 52 名が参加した。千葉の山は、約 4,000 万年前、太平洋プレートが、海底からせりあがって出来た地層で、斑れい岩・蛇紋岩などの嶺岡地層群を形成している。低山ながら、切り立った地形は、房総のエベレストとも呼ばれ、巻道がなく、急峻なキレット越え、小刻みなピークの登り返しは歯ごたえのある尾根縦走だ。
3 日目は、悪天候により断念されたが、他方、人々との交流は、清澄までの踏破断念を補い余りあるものがあった。

林さん提供のスナップです。

出発はＪＲ浜金谷駅　出発前のストレッチ

鋸山頂上より東京湾を望む

房総の山を甘く見るなよ

房総のチベット、山中温泉は冷え込むテント場

２日目のゴールは、鴨川を望むテント場

豪華な海の幸に満足（この後大雪になる）

３日目（１月１４日）は、荒天が確実の予報ため中止を決定。遠方よりの参加者を思うと中止は勇気ある判断であった。１日目のテント場に戻り大交流会を行った。

第１２回房総郡界尾根縦走報告

ちば山の会　広木　国昭

新春恒例の房総郡界尾根縦走が無事終了した。無事終了と思ったのは、昨年の重大事故を忘れてはならない、繰り返してはいけないとの気持ちが強かったからである。この取り組みでは、過去に何件かの重大事故が発生している。主催者の綿密な計画、地域に密着したサポート等、準備万端で取り組んでいても、過去１１回の中では重大事故が発生している。

事故発生の要因をについて、整理して考えてみた。

縦走コースは南房総特有の山岳地帯である。千葉県南部は標高２００ｍ程度の急峻な丘陵であり、浸食されやすい軟らかい砂泥岩で成り立っている。これは、縦走路を歩くとよく理解できる。特に下りでは、木の根がむき出しになり落ち葉と砂泥とで足元が滑り、踏ん張ればさらに滑る。この繰り返しが長時間続き、思った以上にダメージがたまり事故の要因につながる。この縦走路では、転倒、滑落事故が多い、またそれにつながる「つまずき」「しりもち」「足滑り」のヒヤリハットの報告も多い。

昨年の反省から、千葉県連救助隊にコースの危険個所への対応を依頼した。救助隊には、初回からリーダーとして参加者をリードしている心強い隊員、通称「やっさん」がいます。郡界尾根を知り尽くした「やっさん」をして、南房総の山は迷路の連続で気が抜けないとの事である。安全に楽しむために、救助隊員が縦走コースを下見して、コース整備と危険個所にロープを設置した。今回は救助隊員４名が参加して、足場の悪いところやロープ設置個所の通過時にはワンポイントアドバイスを行った。これは、千葉県連救助隊が目指す「救助活動より事故防止活動」の実践でもある。

郡界尾根縦走の取り組みは、今回で１２回目になった。この取り組みが、千葉県連盟の長寿イベントとなったのは、地元の方々の協力があっての事です。我々のたった一泊のために仮設宴会場を造って歓迎してくれる山中温泉のご主人をはじめ、地元特産の炭、野菜の差し入れには何時も感激しています。このご協力は、主催者が日頃から地元の方々との、お付き合いの積み重ねがあって得られた事あります。これは郡界尾根縦走をライフワークとして何より大事に守って来た、相馬ご夫妻あっての事です。

最後に幾つかの提案をしたい。現在の受け入れ体制で、県外の参加者を含めて５０人を超える参加者に、郡界尾根縦走を楽しんでもらうのは限界ではないだろうか。

- １日の歩行距離が長い・・・歩くだけで精一杯・・・疲労が大きい。
- 参加者が多い・・・サポートが大変・・・食事などに人出が必要。
- 体力の差が大きい・・・走行速度の差が大きい・・・班行動に付いて行けない。
- 県外の参加者が多い・・・事前に詳細が分からない・・・ぶっつけ本番。
- 県連各会からの参加が少ない・・・参加者が固定化してないか。
- ふわくＨＣからの参加者が少なくない・・・高齢化などは影響ないか。

★　参加者が、この取り組みの素晴らしさを実感出来るような運営体制をつくる事が必要ではないだろうか。

全国連盟　臨時総会の案内

　第３０期臨時総会が下記のとおり召集されます。
本来、全国連盟総会は隔年で実施され、総会の間は評議会が実施されていました。
今回の臨時総会は、昨年２月の総会で承認された「個人会員制度」導入にともない
個人会員制度規約と関連する規約改正を審議するものです。
　千葉県連からは、３名の代議員枠があります。各会からの参加をお願いします。
代議員・傍聴を希望する方は、下記に連絡をお願いします。
連絡先　千葉県勤労者山岳連盟　ホームページ事務局への問い合わせ
　　千葉県連　会長　広木　国昭　（danphiro@zpost.plala.or.jp）

日本勤労者山岳連盟　第 30 期臨時総会議案

第 30 期臨時総会の主な議題は、次のとおりである

- **１号議案　　第 30 期上期の活動総括と第 30 期下期（2013 年度）の活動方針**
- **２号議案　　「個人会員制度」導入に伴う規約改定案**
- **３号議案　　第 30 期上期の一般会計、特別会計、機関誌会計および新特別基金会計の報告と監査報告**
- **４号議案　　第 30 期下期の一般会計、特別会計、機関誌会計および新特別基金会計の提案**

今臨時総会の主な目的と主要な課題は、次のとおりである。

（１）日本勤労者山岳連盟の現状と今後の活動方向、組織の拡大強化について。

（２）「ＲＯＵＳＡＮパートナーズ」（個人会員制度）促進・拡大の取り組みと規約の整備。
（３）重大事故多発の総括と一層の遭難対策活動の強化の提案について。

（４）地球温暖化など変化する山岳自然の保護の活動について。

（５）青年や少年に登山や自然の魅力と楽しさ、大切さを伝える活動の強化について。

以上

◆　全国連盟理事の選出についてのお願い。

　全国連盟理事会は２２名の理事で構成されています。千葉県連盟からは３名の理事の選出責任があります。現在は、２名の理事を選出しています。
皆さんの会から、１名の全国理事の選出をお願いします。
　全国理事は、全国連盟事務所で実施される、月１回の理事会への参加が義務付けられています。

一人でも入れる山の会
ROUSANパートナーズ

ＲＯＵＳＡＮパートナーズへの問い合わせは

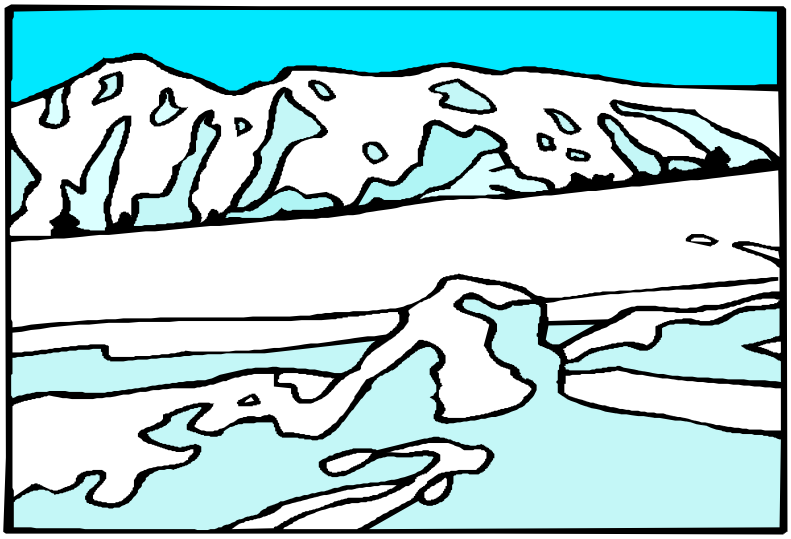
- ホームページ http://www.yama-tomo.jp にアクセスしてください。
- 千葉県連盟ホームページ・事務局への問い合わせまで
- 千葉県連会長　広木まで（danphiro@zpost.plala.or.jp）

千葉県連でも入会を受付けます。一人で山行している友人・住居近くに山の会がない知人　などに紹介してください。

2013 雪上技術講習の案内

千葉県連教育遭難対策委員会

昨年に引き続き、残雪期の事故防止を目的とし、主に単独では取り組みが難しい会を念頭に置いて、ちば山の会及び県連救助隊に協力を頂き、雪上技術講習を開催します。
各会よりの積極的な参加を望みます。



日時：４月６日（土)
実施内容：①雪上技術訓練　初級及び中級対象
　　７：００～１２：００　　講師／ちば山の会＜予定＞
　　②シート梱包・搬出法他
　　１２：００～１６：００　講師／県連救助隊＜予定＞
　＜追＞４月７日（日）は自由行動
場所：谷川岳・マチガ沢出合い付近　現地集合
交通／宿泊：各会毎に集合。宿泊は 土合駅 マチガ沢出合付近等。
　　尚、ロープウェイ駅待合室は宿泊不可。
参加会の事前打ち合せ：３月２８日（木）１９：００～県連事務所
持参装備：雪山装備一式
　　個人：県連推奨７点セット（補助ロープ 10m　スリング長１短２　カラビナ２　環付きカラビナ１）
　　各会毎：銀マット１　ツェルト１　ロープ１
申込み・問合せ：３月２４日(日)までに。　別紙申込書にて遭対委員会岡田へ。
　　e-mail：ken-ichi@f4.dion.ne.jp 又はfax：043-271-4704 で

アコールデささえ愛隊主催

春におくる戸隠コンサート＆ハイキング

自然を山を、そして音楽を愛してやまない私たちに憩いと交流の場を提供してくれてきた音楽ロッジ・アコールデが東日本大震災後、経営困難に陥っています。そこで、シンガーソングライター横井久美子さんの呼びかけで結成された「アコールデささえ愛隊」主催により、この春に 3 週連続でコンサートを企画しました。そのパート 1 が、石巻より矢口さんをお招きして 5 月 18 日に開催されます。

水芭蕉やカタクリの花が咲き、新緑の美しい爽やかな戸隠高原で素敵な音楽と歌声、そしてハイキングを楽しんでみませんか。

◆　日程：2013 年５月１８日（土）～１９日（日）

◆　場所：戸隠高原（宿泊・コンサート会場　音楽ロッジ・アコールデ）

◆　コンサート：19 時 30 分開演

第１部　石巻在住「人は旅人、われ、歌う旅人」矢口清志氏による歌とお話
「東北山々の歌」他

第２部　アコールデオーナー・糸賀民夫氏(相模労山 OB)によるアコーディオン演奏
シャンソンメドレー、ボルカ、タンゴ、民族音楽など
―　コーヒータイム（ケーキ＆ドリンク）　―

第３部　矢口・糸賀両氏の演奏による歌声

◆ **行動予定**

５月１８日（土）
6:30 集合：千葉駅 NTT 前～7:30 松戸市民劇場～高速道（外環・関越・上信越）～長野 IC ～戸隠高原ハイキング（森林植物園=鏡池）～16:00 アコールデ着～夕食～コンサート

５月１９日（日）
7:00 朝食～瑪瑙山（めのうさん）軽登山～昼食：中社にて戸隠蕎麦～高速道～帰葉

◆
- 参加費：18,000 円（１泊２食、コンサート、交通費）
- 主幹：NPO 法人ちば労山ゆう
- 後援：千葉県勤労者山岳連盟
- 申込先：　吉田哲治　（tetsu195715@aol.com　　090-1406-5008）

県連たより

県連盟連絡先

◎　千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
　　レジデンス幕張台 101 号室
ＴＥＬ・ＦＡＸ：　043-306-1190
Ｅメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
ＪＲ総武線幕張本郷下車、海側　徒歩５分

◎　千葉県連ホームページ
　　http://www.cwaf.jp

◎　「ちばニュース」原稿送付先
　　danphiro@zpost.plala.or.jp

◎　事故一報送付先
教遭委員長・岡田　賢一
　　ken-ichi@f4.dion.ne.jp
　　Ｆａｘ：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事。

◎　連盟費振込み先
郵便振替口座　00160-3-481509
　　千葉県勤労者山岳連盟

◎　東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
　　00130-7-595190
加入者名　　佐藤　勝子
〒272-0023
　市川市南八幡　1-25-16

☆　事務局のお手伝いを、常時募集中
事務所の片付け・資料の整理など
一人でもお友達と一緒でも大歓迎です。
連絡は：広木までお願いします

ＮＰＯ法人「ちば労山ゆう」

◎　「ちば労ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページからも
入会出来ます。
・入会申し込みは
http://www.cwaf.jp/contact/10-2/
・「ちば労山ゆう」への問合せは
http://www.cwaf.jp/contact/09-3/
・入会情報（１２月末）

正会員数	８７名
賛助会員数	１０１名
合計	１８８名

支援物資のご案内

気仙沼産「わかめ」入荷しました。
被災地気仙沼産のワカメの入荷が始まりました。
とろろ昆布と同じ、前田商店からの入荷です。
とろろ昆布の在庫もあります。
問い合わせ・注文は下記アドレスに多少にかかわらずご連絡を下さい。

☆　加盟会代表者会議のお知らせ
２月２４日（日）船橋市西部公民館で県連理事・代表者の合同会議を実施します。

☆　新特別基金の更新月です
一部の会を除いて、２月が更新月です。会員数と新特別基金加入者数とに注意して下さい。

danphiro@zpost.plala.or.jp

090－8316－2020

県 連 活 動 予 定 表

2月		行事予定	3月		行事予定
1	金		1	金	
2	土		2	土	
3	日		3	日	
4	月	女性委員会	4	月	女性委員会
5	火		5	火	
6	水		6	水	
7	木		7	木	
8	金		8	金	
9	土		9	土	
10	日		10	日	
11	月		11	月	
12	火	県連役員会	12	火	県役員会
13	水		13	水	
14	木		14	木	
15	金		15	金	
16	土	全国臨時総会	16	土	
17	日	〃　晴美グランドホテル	17	日	
18	月	救助隊定例会	18	月	救助隊定例会
19	火		19	火	
20	水		20	水	
21	木		21	木	県理事会
22	金		22	金	
23	土		23	土	
24	日	**県理事・代表者会議**	24	日	
25	月		25	月	
26	火		26	火	
27	水		27	水	
28	木		28	木	
			29	金	
			30	土	
			31	日	

発行者　：　千葉県勤労者山岳連盟
〒261－0013　千葉市花見川区幕張本郷　1－29－18
レジデンス幕張台　101号室
TEL・FAX　043－306－1190（事務所には常駐者はいません）
発行責任者　：　吉田　哲治　　編集責任者　：　広木　国昭
問い合わせ先　：　千葉県勤労者山岳連盟ホームページ　事務局への問い合わせ